



THE ROTARY CLUB OF HIROSHIMA-RYOHOKU

広島陵北ロータリークラブ

- The Weekly Report -

～クラブのテーマ～

こころゆたかなロータリアン

～本年度会長方針～

奉仕と友情



人類に
奉仕する
ロータリー

2016-2017 RI会長メッセージ

第1243回例会 2017年2月15日 No.1213号

会長時間



会長 賀谷 俊幸

皆さんこんにちは！ 本日は 蔵田修様、藤澤信也様、藤原克実様、中根弘幸様、岡崎陽一様、三宅恭次様 我が広島陵北ロータリクラブ例会に参加いただきまして誠にありがとうございました。ごゆっくりお楽しみください。

先週は今季最大の寒波になりましたが、ちょうど病院に居たことでこの寒さを感じずに済みました。会長就任以来初めて欠席しましたがもう大丈夫です。後残り5カ月頑張ってロータリー活動をつづけたいと思います。それにしても重大なイベントが続きます。先週の安部首相とトランプ大統領会談、世界が大きく動く印象で我が国の安全保障をはじめとして特に経済面で自由貿易が維持できるか保護主義に移行するのか現世界が大きな影響を受ける局面にあり、それらにより皆さんの会社運営がどの方向に進むのか過去のバブルショック、リーマンショックを思い出すような出来事でここは最大の試練です。情勢をしっかりと判断しぬかりのない決断を求められます。粘り強く頑張ってください。以上会長時間です。

今回の例会(2月22日)

会員卓話

大旗 健 会員、今田 正敏 会員、小林 康起 会員

次回の例会(3月1日)

会員卓話

船場 誠吾 会員

出席報告
(例会運営委員会)

2月15日(水)出席者

会員総数	51名
出席会員	32名
欠席会員	19名
ご来賓	0名
ご来客	6名
ゲスト	0名

来客者紹介
(親睦家族委員会)

2月15日(水)出席者

広島RC	1名
広島北RC	4名
広島安佐RC	1名

幹事報告(山田和弘)

■お知らせ

・前回の例会にてご案内しております、古川さくら植樹式ですが、今週末18日の10時から開催となります。出席予定の方はクラブジャンパーを着用して下さい。



.....SMILE BOX

S.A.A

本日は残念ながら出宝がありません。明日から始まる確定申告。スムーズな申告・納税となりますよう全員出宝をお願いいたします。

当日計	33,000円	累計	668,536円
-----	---------	----	----------

【例会】 毎週水曜日(12:30～13:30) / リーガロイヤルホテル広島(広島市中区基町6-78) / 082-502-1121

【会長】賀谷 俊幸 【事務所】広島市中区基町6-78 リーガロイヤルホテル広島13F

【幹事】山田 和弘 【ホームページ】http://www.ryohoku-rc.jp/

【TEL】082-221-4894

【FAX】082-221-4870

会 員 卓 話

トランプ大統領の誕生に思う

竹内 真一 会員

アメリカ大統領選挙でトランプ氏が勝利した。選挙期間中から激しい口調で物議をかもしていたが私が注目したのがトランプ氏の「アメリカはもう世界の警察をやめる」「米軍は日本から撤退する」という言葉だ。実はこれ裏づけるような衝撃的な本を2015年に読んでいた。「この国を縛り続ける金融・戦争・契約の正体」という本だ。著者は片桐勇治という国防族議員の秘書をされていた方で元国民新党の広報部長だ。2013年4月17日発行の産経新聞社刊の「別冊正論」19号に初めてこの内容を発表されかなりの反響を呼んだという。



内容をかいつまんで説明すると、2013年4月28日に天皇陛下もご臨席され「主権回復の日」式典が政府主催で初めて行われた。一般的には1952年4月28日サンフランシスコ講和条約が発効されて日本は主権を回復していたはずだが、何故61年目なのかと言うところがこの本のキモである。タイトルにもあるが「戦争する前にどこからかお金を融通する。そして戦争の実行、終了すれば借金の返済と負ければ戦後賠償も重なってくる」この借金の返済と戦後賠償に60年から90年位かけて縛られるのが国際関係だという。まさに国の形を縛られるわけで「戦後体制」というものの正体が、お金の返済とその担保だ」という。我が国の場合、借金は戦後復興資金として吉田茂首相がアメリカから借り入れた30億ドル、現在価値30兆円、表向きはないとされた戦後賠償は700～800兆円ともいわれる換金不能の米国債の購入だ。こうした返済の担保として主権の一部である国防権、航空管制権、電波権を差し出したと言うのだ。これが密約として歴代総理がサインしてきたというのだ。確かに軍隊は持たず、米軍基地の上空は飛行できず、通信施設も接収された。手足を縛られた状態で戦後様々な矛盾を抱えながら61年間仮の独立国家として存在してきたのだ。しかし2013年4月28日を境目に日本は独立＝主権を回復したというのである。その証左として国防権は2012年に空自航空総隊司令部が米軍横田基地内に移転完了、2013年3月には陸自中央即応集団司令部が神奈川県に米軍基地座間に移転。米軍の縮小再編は徐々に進みつつ、やがて撤退ということもありうるのでは・・・航空管制権は横田基地の上空が通過できるようになり羽田空港の大幅な拡張、電波権は巨大な電波塔である東京スカイツリーが2012年4月に完成、地デジの運用が2014年5月から開始される。また携帯電話のプラチナバンド解放もあった。更に2013年4月29日には日露首脳会談が行われ「準同盟会議」ともいわれる「日露2+2」が締結された。独自外交も翌日から始まったのだ。このような大きな地殻変動が今、現実的に日本で起こっていることを我々も改めて認識しなければならない。こうした状況の下、アメリカで従来の大統領とはまるで逆を行くトランプ大統領が誕生したのだ。一気に米軍撤退などという理想論を求めるわけではないが現実的な対応の中にも、これまでより明確な独立国としての気概を持った交渉や政策を実現するチャンスではないだろうか。トランプ大統領の誕生は米国だけの問題ではない。